

RYOBI

リョービ株式会社

2020年12月期 決算説明会資料

(証券アナリスト、機関投資家向け)

2021年2月18日



目次

1. 決算のポイント	P. 3
2. 2020年12月期 決算実績	P. 11
3. 2021年12月期 業績予想	P. 17
4. 今後の取組み	P. 23

1. 決算のポイント

決算のポイント(1)

1. 決算のポイント

➤ 2020年12月期連結実績 減収・減益 (対前年比)

(ダイカスト)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大幅な減収

海外拠点別では米国、英国、タイで減収、中国は増収

減収による影響を原価低減や生産性向上で補うことが出来ず減益

(住建機器)

国内・海外ともに減収 利益は原価低減、経費削減等により増益

(印刷機器)

国内・海外ともに減収 海外では主に北米、欧州向け輸出が減少

価格競争激化もあり、原価低減や生産性向上等では補いきれず減益

➤ 2021年12月期予想は増収・増益

2021年の景気は国内外ともに緩やかな回復を見込み増収

決算のポイント(2)

1. 決算のポイント

今期実績と業績予想

(単位：億円)

	'19/12期	'20/12期		'21/12期	
	実績	実績	前期差 (前期比)	予想	前期差 (前期比)
売上高	2,205	1,710	△495 (△22.5%)	1,980	270 (15.8%)
営業利益	85	△18	△103 (-)	55	73 (-)
経常利益	87	△0	△88 (-)	55	55 (-)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	49	△7	△56 (-)	43	50 (-)

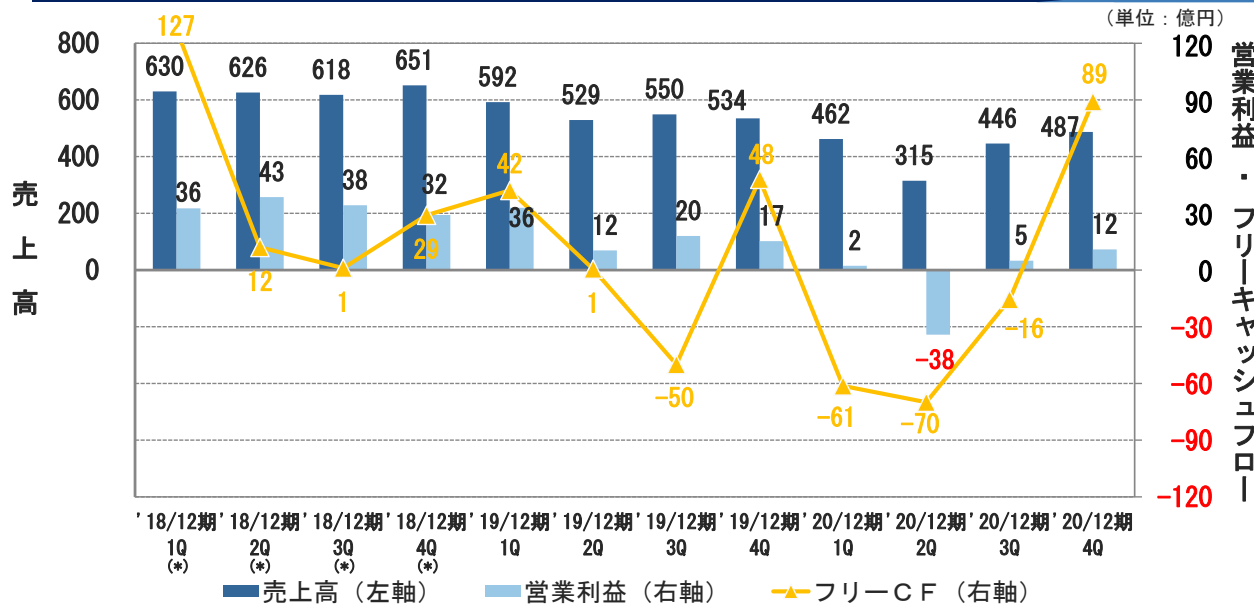
5/44

決算のポイント(3)

1. 決算のポイント

四半期別業績推移

(単位：億円)



- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、'20/12期第1四半期より主に中国の売上高が減少
- 第2四半期では国内外の拠点で大きな影響 四半期での営業損失は'10/3期第2四半期以来
- 第3四半期からは黒字に回復

* '18/12期 各四半期は、'19/12期に合わせた期間の実績

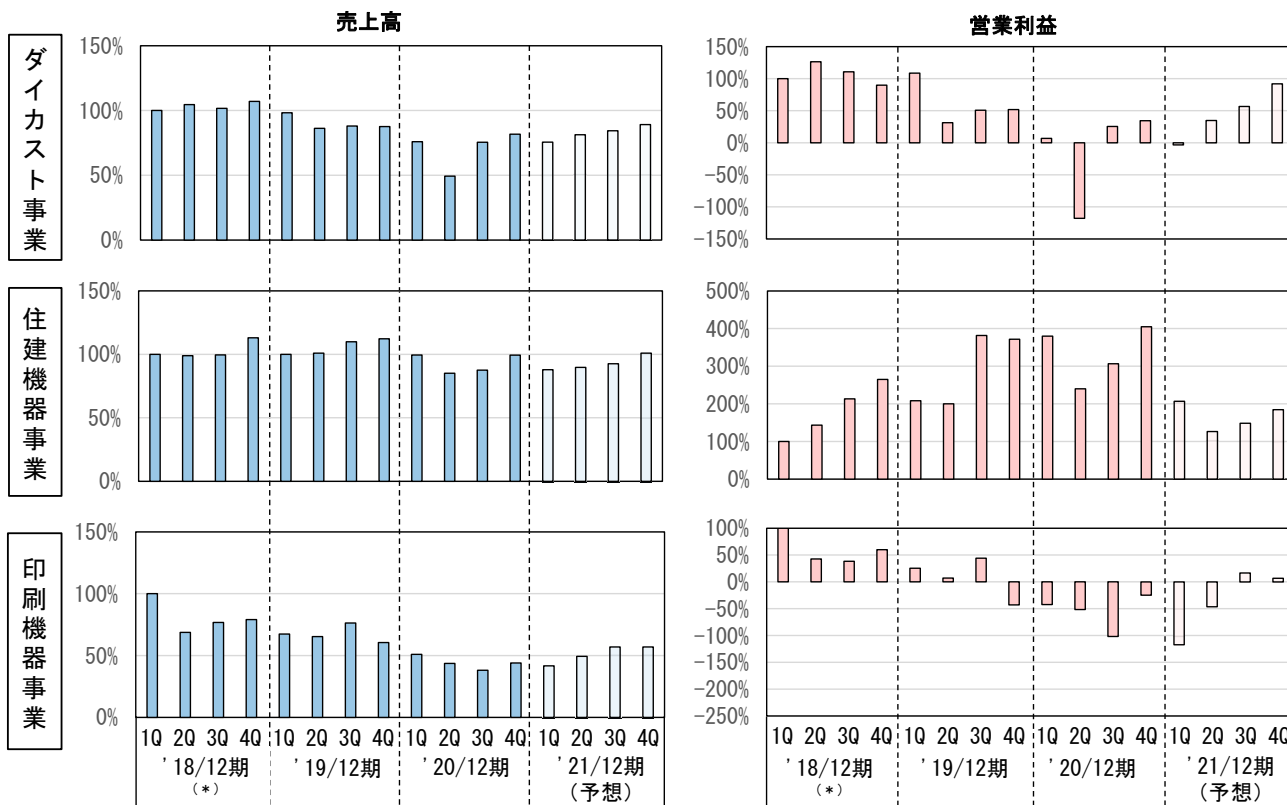
6/44

決算のポイント(4)

1. 決算のポイント

各事業の売上高と営業利益の推移（四半期）

（'18年12月期第1四半期（1月から3月）の売上高・営業利益を100とした場合）



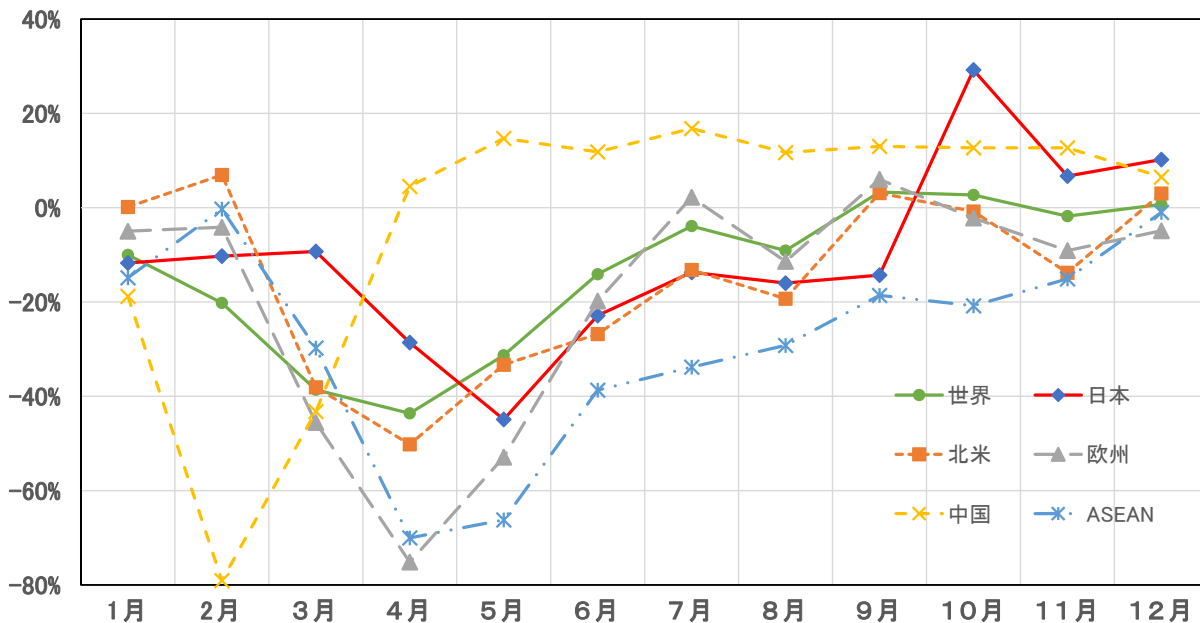
* '18/12期は、'19/12期に合わせた期間（国内12ヵ月（'18/1-12）、海外12ヵ月（'18/1-12）の実績）

7/44

決算のポイント(5) 新型コロナウイルス感染症の影響

1. 決算のポイント

2020年 地域別 自動車販売実績(前年同月比)の推移(%)



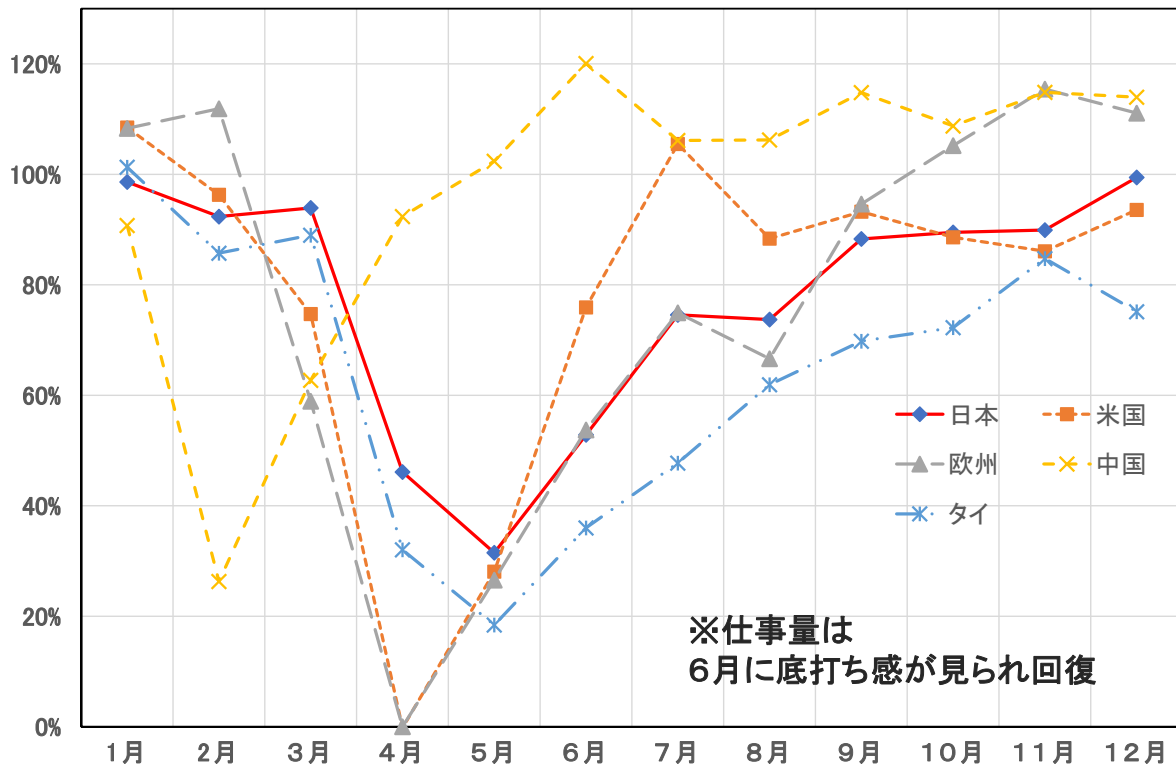
- ・世界:5月から回復傾向
 - ・日本:6月から回復し10月から同年前月を上回る
 - ・北米、欧州、ASEAN:5月から回復傾向
 - ・中国:3月から回復し4月から前年同月を上回る
- 自動車販売は各地域でほぼ回復してきている。

* マークラインズ2/2自動車販売速報を当社にて集計

8/44

決算のポイント(6) 新型コロナウイルス感染症の影響

2020年 ダイカスト事業 地域別(期首計画比)生産高の推移(%)



9/44

決算のポイント(7) セグメント別実績・予想

(単位: 億円)

	'19/12期	'20/12期		'21/12期	
	実績	実績	前期差 (前期比)	予想	前期差
売上高	2,205	1,710	△495 (△22.5%)	1,980	270 (15.8%)
ダイカスト	1,859	1,459	△401 (△21.6%)	1,706	247 (16.9%)
住建機器	107	94	△13 (△12.1%)	94	0 (0.0%)
印刷機器	237	155	△81 (△34.2%)	180	25 (16.1%)
営業利益	85	△18	△103 (-)	55	73 (-)
ダイカスト	77	△16	△93 (-)	57	73 (-)
住建機器	7	8	1 (14.7%)	4	△4 (△50.0%)
印刷機器	1	△9	△11 (-)	△6	3 (-)

10/44

2. 2020年12月期 決算実績

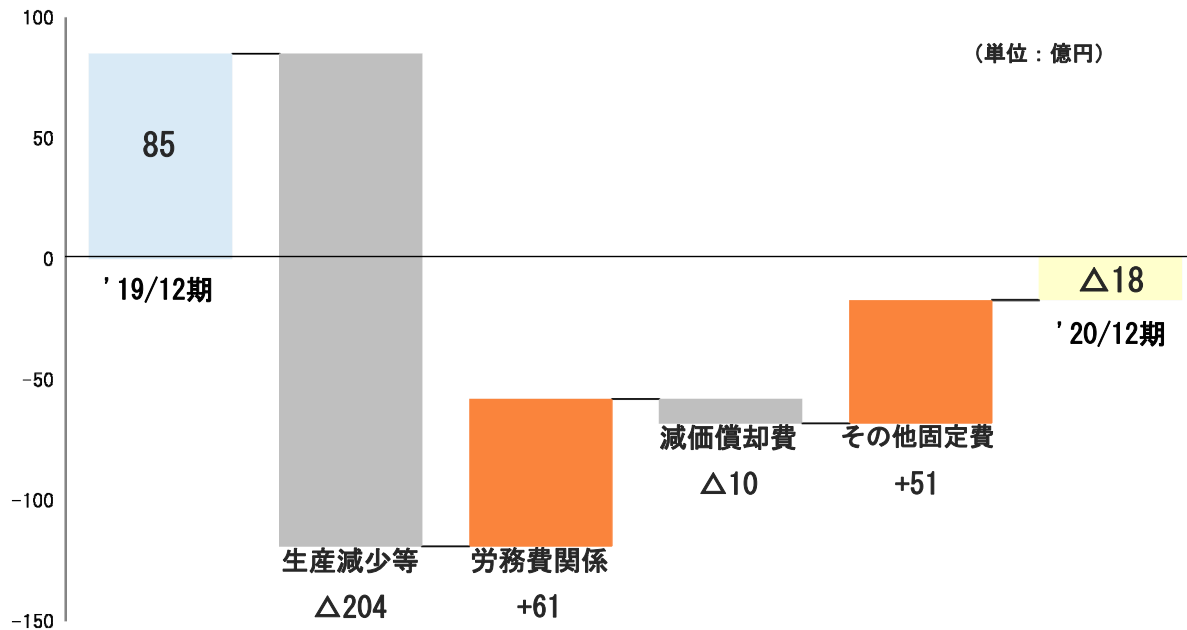
実績サマリー

2. 2020年12月期決算実績

(単位：億円)

	'19/12期	'20/12期			
	実績	実績	前期差 (前期比)	業績予想	業績予想差 (業績予想比)
売上高	2,205	1,710	△495 (△22.5%)	1,710	△0 (△0.0%)
営業利益	85	△18	△103 (-)	△29	11 (-)
経常利益	87	△0	△88 (-)	△17	17 (-)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	49	△7	△56 (-)	△15	8 (-)

営業利益増減要因



その他固定費の主な内訳

水道光熱費	+12億円
消耗品費	+10億円
修繕費	+9億円

為替レート (期中平均)

	'19/12期	'20/12期
米ドル	108.99円	106.80円
英ポンド	138.85円	137.43円
中国元	15.80円	15.40円
タイバツ	3.51円	3.41円

13/44

セグメント別実績

(単位：億円)

	'19/12期	'20/12期			
	実績	実績	前期差 (前期比)	業績予想	業績予想差 (業績予想比)
売上高	2,205	1,710	△495 (△22.5%)	1,710	△0 (△0.0%)
ダイカスト	1,859	1,459	△401 (△21.6%)	1,465	△6 (△0.4%)
住建機器	107	94	△13 (△12.1%)	95	△1 (△1.1%)
印刷機器	237	155	△81 (△34.2%)	150	5 (3.3%)
営業利益	85	△18	△103 (-)	△29	11 (-)
ダイカスト	77	△16	△93 (-)	△18	2 (-)
住建機器	7	8	1 (14.7%)	7	1 (14.7%)
印刷機器	1	△9	△11 (-)	△18	9 (-)

14/44

貸借対照表

(単位：億円)

	'19/12期	'20/12期	増減	うち 為替影響		'19/12期	'20/12期	増減	うち 為替影響
流動資産	1,125	1,122	△ 3	△ 4	流動負債	900	839	△ 61	△ 4
現預金	225	266	40	1	仕入債務	357	291	△ 66	△ 1
売上債権	412	402	△ 10	△ 2	短期借入金	325	373	48	△ 3
有価証券	8	8	△ 0	△ 0	その他	218	175	△ 43	△ 1
棚卸資産	452	414	△ 38	△ 3	固定負債	436	488	52	△ 3
その他	29	33	4	0	長期借入金 (社債含む)	294	352	58	△ 3
固定資産	1,506	1,464	△ 42	△ 15	その他	142	137	△ 6	△ 0
有形固定資産	1,216	1,190	△ 26	△ 15	株主資本	1,181	1,163	△ 18	0
無形固定資産	37	35	△ 2	0	その他の包括 利益累計額	24	9	△ 15	△ 12
投資その他の 資産	253	240	△ 13	△ 0	非支配株主持分	91	88	△ 3	—
繰延資産	0	0	△ 0	—	純資産合計	1,296	1,259	△ 36	△ 11
資産合計	2,632	2,587	△ 45	△ 19	負債・純資産 合計	2,632	2,587	△ 45	△ 19

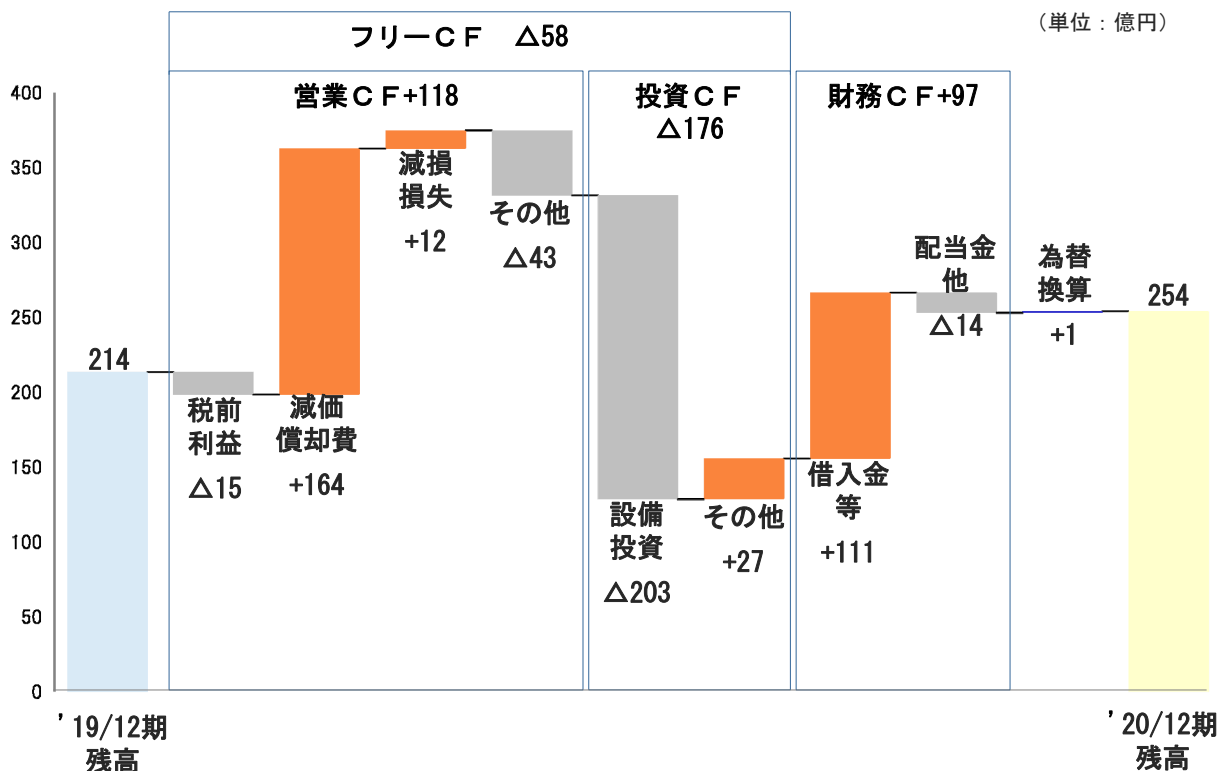
- 売上高減少により、売上債権・仕入債務は減少
- 設備投資資金として長期借入金増加
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し手元資金の積み増しを実施し短期借入金増加

為替レート (期末日)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'19/12期	109.56円	143.48円	15.67円	3.63円
'20/12期	103.50円	139.82円	15.88円	3.44円

15/44

キャッシュフロー増減

(単位：億円)



16/44

3. 2021年12月期 業績予想

業績予想

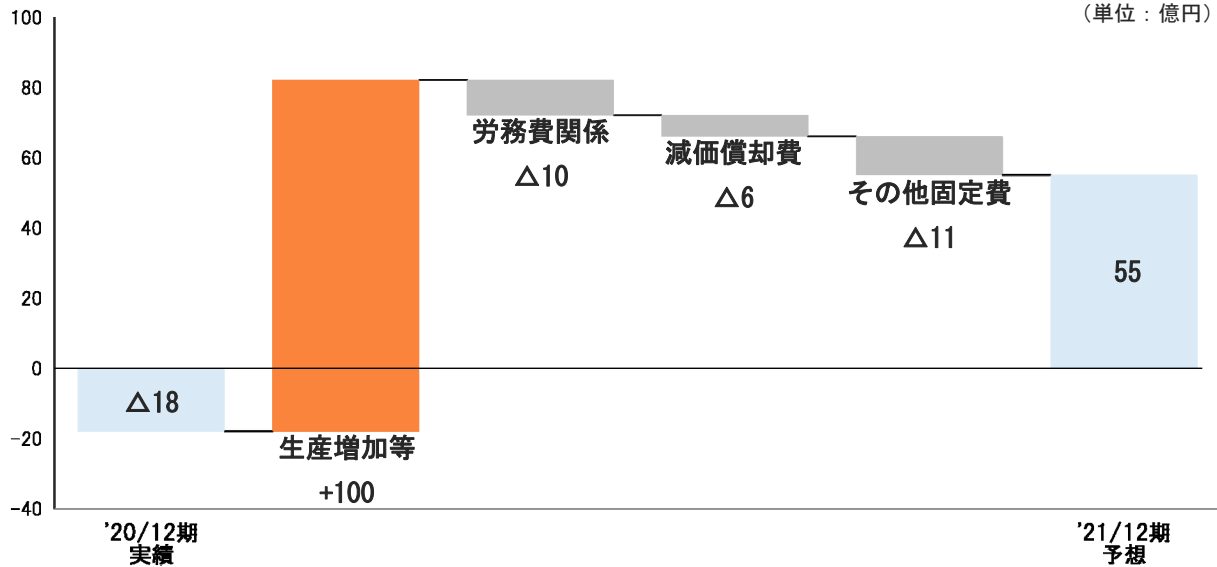
3. 2021年12月期 業績予想

(単位：億円)

	' 20/12期	' 21/12期	
	実績	予想	前期差 (前期比)
売上高	1,710	1,980	270 (15.8%)
営業利益	△18	55	73 (-)
経常利益	△0	55	55 (-)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△7	43	50 (-)

営業利益予想増減要因

(単位：億円)



- 国内外増収効果による増益
- 生産増加に伴い主に海外拠点で労務費や固定費が増加
- 設備投資に伴う減価償却費の増加

為替レート

	'20/12期 (期中平均)	'21/12期 (予想)
米ドル	106.80円	105円
英ポンド	137.43円	135円
中国元	15.40円	15.5円
タイバーツ	3.41円	3.4円

為替が1%円高に変動した場合の年間営業利益への影響額

米ドル	△50百万円
英ポンド	△10百万円
中国元	△10百万円

19/44

セグメント別業績予想

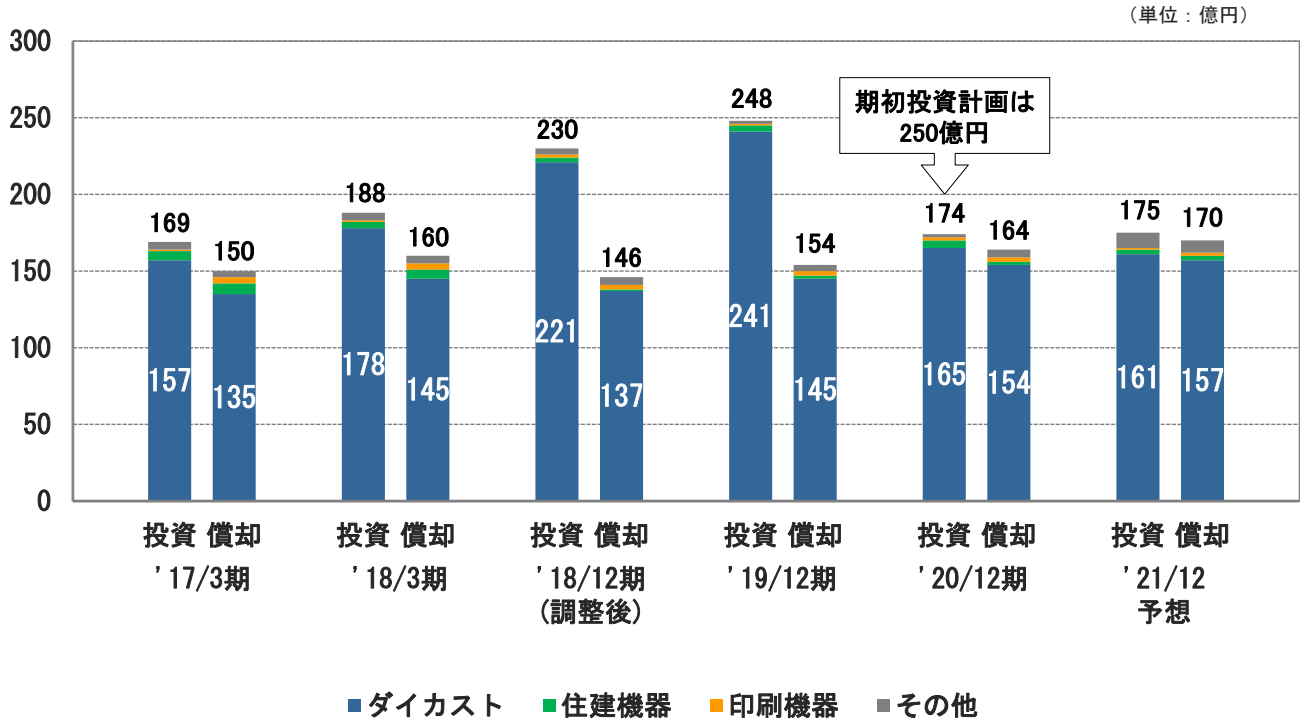
(単位：億円)

	'20/12期	'21/12期	
	実績	予想	前期差 (前期比)
売上高	1,710	1,980	270 (15.8%)
ダイカスト	1,459	1,706	247 (16.9%)
住建機器	94	94	0 (0.0%)
印刷機器	155	180	25 (16.1%)
営業利益	△18	55	73 (-)
ダイカスト	△16	57	73 (-)
住建機器	8	4	△4 (△50.0%)
印刷機器	△9	△6	3 (-)

20/44

設備投資・減価償却費

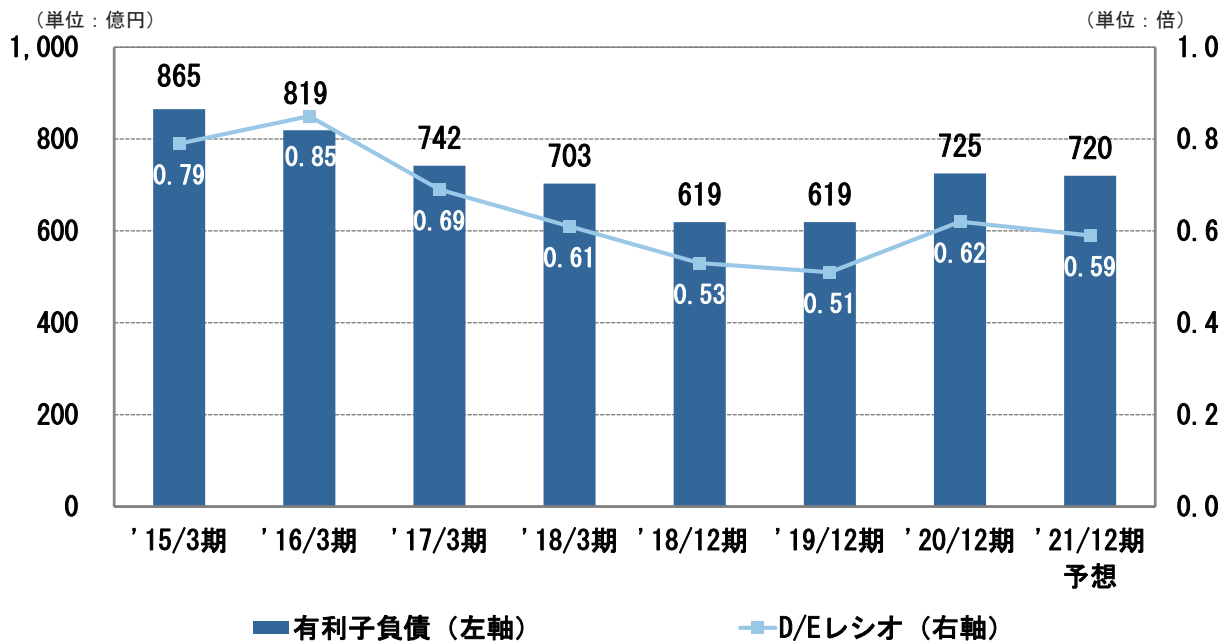
設備投資・減価償却費の推移



注)'18年4月より、国内の有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更

有利子負債・D/Eレシオ

有利子負債・D/Eレシオの推移



	'15/3期	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期	'21/12期 予想
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	32.3%	30.9%	28.2%	25.8%	23.0%	23.5%	28.0%	27.8%

4. 今後の取組み

事業戦略骨子

4. 今後の取組み

<企業理念>

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

<事業の戦略骨子>

ダイカスト事業

- 営業力の強化
- 技術開発力の強化（軽量化・材料置換対応）
- グローバル生産体制の強化
- 生産設備の自動化展開

住建機器事業

- 国内ドアクローザ市場でのシェア拡大
- 競争力のある商品開発
- 最適生産体制の推進

印刷機器事業

- 商品力の強化
- 販売・サービスの強化
- 製造力強化と生産性向上

ダイカスト事業 - 当社の取組み

今後の需要予測に関するまとめ

①自動車販売台数

- ・販売台数は、'40年頃をピークに減少する。

②パワートレインミックス

- ・電動化の主流は、当面ハイブリッド車である。
- ・環境規制、バッテリー動向で今後の予測は変化する。

③ダイカスト需要（消費地需要）

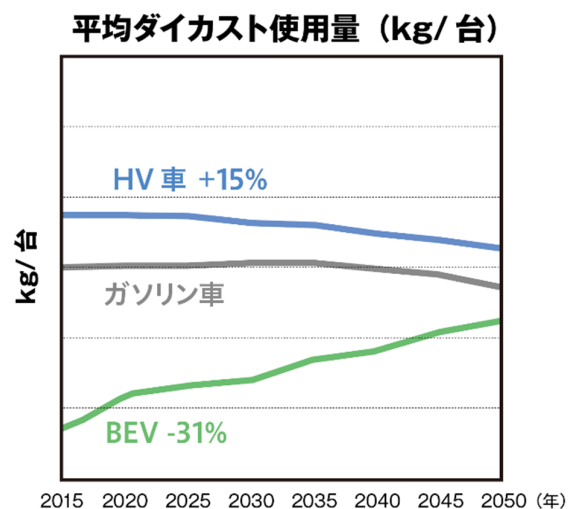
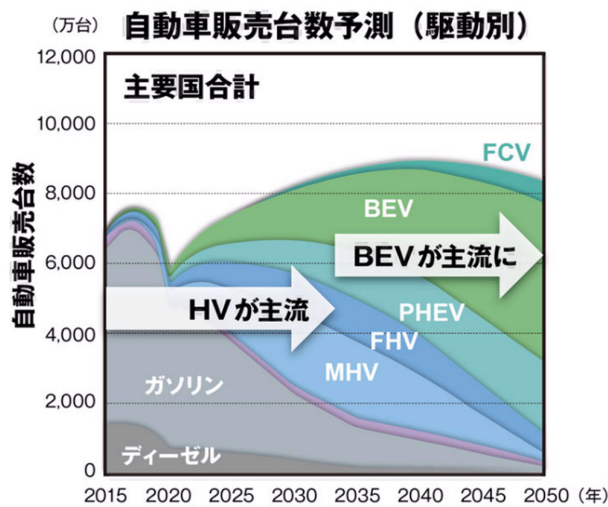
- ・ダイカスト仕事量のピークは、'35年～'40年頃と予測される。
- ・動力源は変化するが、大型ダイカスト品（重量10kg程度）の需要は、増加傾向が続く。

25/44

ダイカスト事業 - 当社の取組み

自動車販売台数とパワートレインミックス予測

当社予測 '20/11/1



FCV：燃料電池車 BEV：電気自動車 PHEV：プラグインハイブリッド
FHV：フルハイブリッド MHV：マイルドハイブリッド

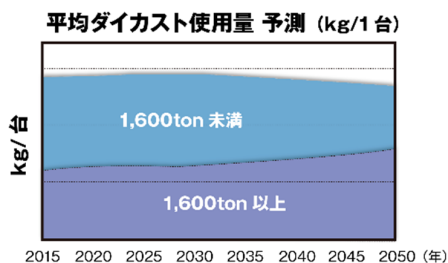
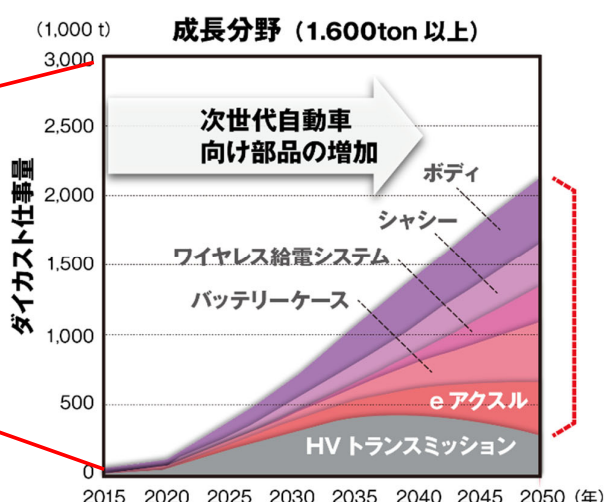
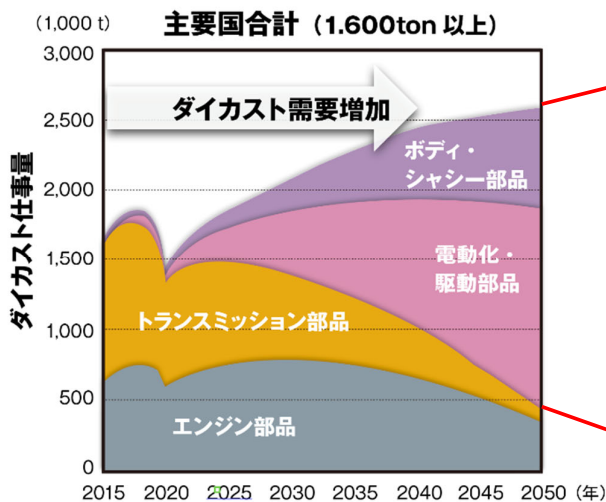
- ・HVは、環境規制対応で増加
- ・ZEV比率は、2050年に約60%

HV車のダイカスト使用量は
ガソリン車との比較で+15%
(2015年～2050年の平均値)

26/44

ダイカスト事業 — 当社の取組み

ダイカスト需要予測 — 一体化を活かした材料置換による増加 — 当社予測 '20/11/1



ボディ・シャシー、バッテリーケース、e アクスルなどのニーズが増加する。

- ・大型ダイカスト品は、増加傾向が継続し、将来需要は安定している。
- ・車一台当たりのダイカスト使用量は大きく変わらない。

次世代車：HEV, PHEV, BEV, FC

ダイカスト事業 — 当社の取組み

今後の戦略製品 — 自動車の軽量化や電気自動車など多彩なニーズ —

短期'20年～

中期'25年～

長期'30年～



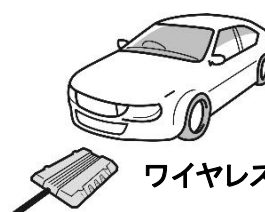
HVトランスミッション



モーターケース



eアクスル



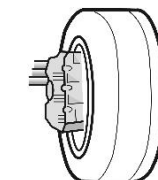
ワイヤレス給電



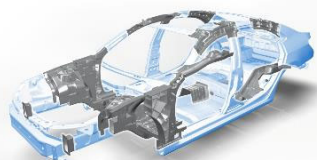
PCU・インバーター他



減速機・ディファレンシャル他



インホイールモーター



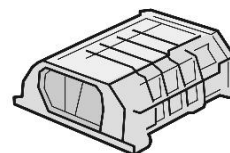
ボディ・シャシー



PHVバッテリーケース



BEVバッテリーケース

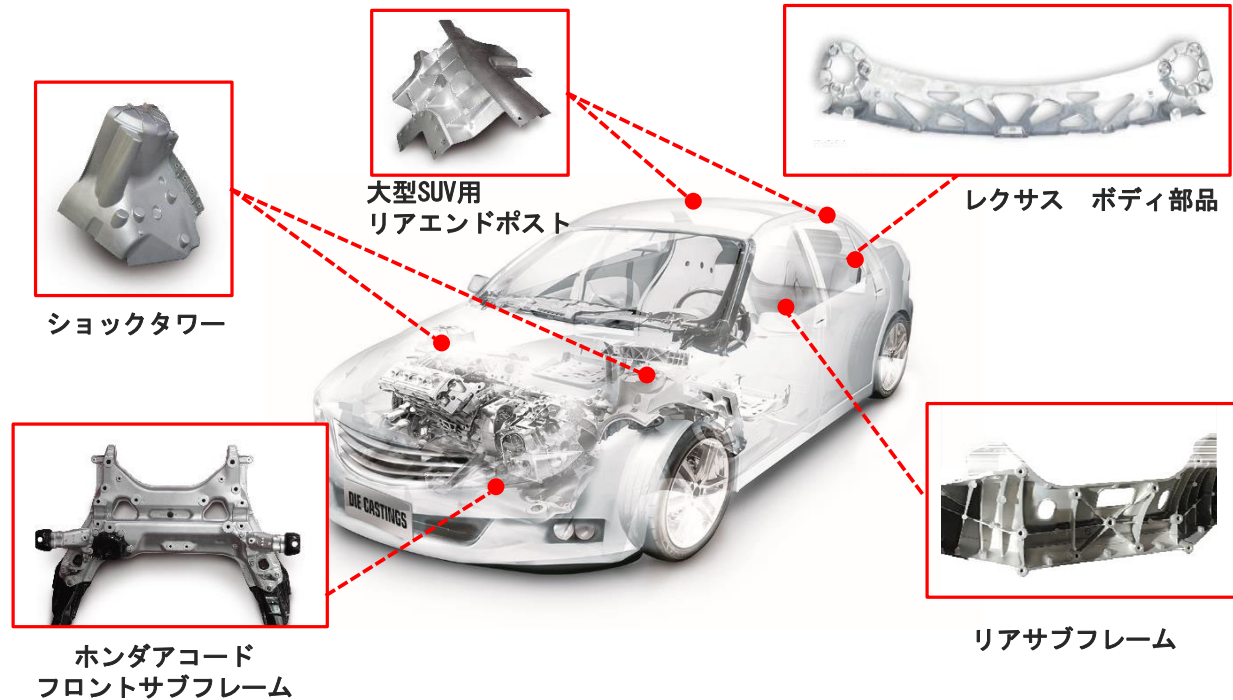


FCスタック

ダイカスト事業 — 当社の取組み

電動化・軽量化への取組み

ボディ・シャシーのアルミダイカスト化



29/44

ダイカスト事業 — 当社の取組み

電動化・軽量化への取組み

次世代車向けの営業力の強化

(電動化・軽量化部品の営業活動推進)

・ 2020年12月期

新規受注の内、次世代車向け比率 38% (売上高ベース)

次世代車向けの技術開発の強化

・ 軽量化部品

ボディ・シャシー部品 (サブフレーム、インパネリインフォースなど) の開発

・ 電動化部品

バッテリーケース、eアクスルケースの開発

設備投資

・ 2021年12月期設備投資額

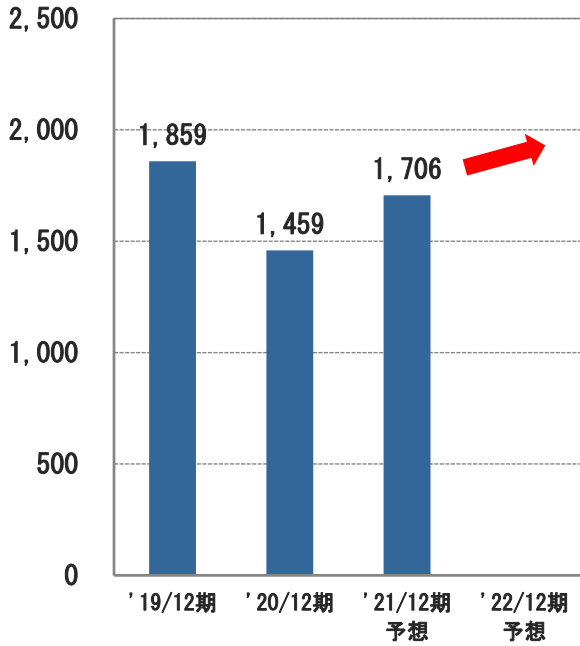
新規品向け比率 63%電動化・軽量化部品向け比率 32%

30/44

ダイカスト事業 - 売上高・設備投資

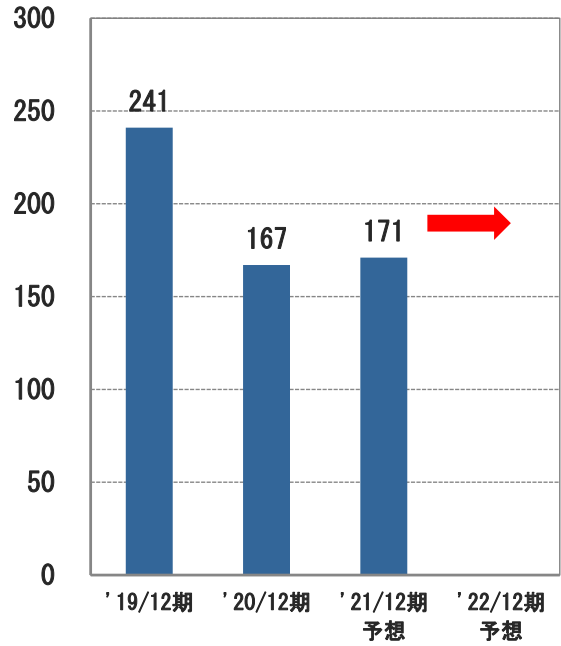
売上高の見通し

(単位：億円)



設備投資の見通し

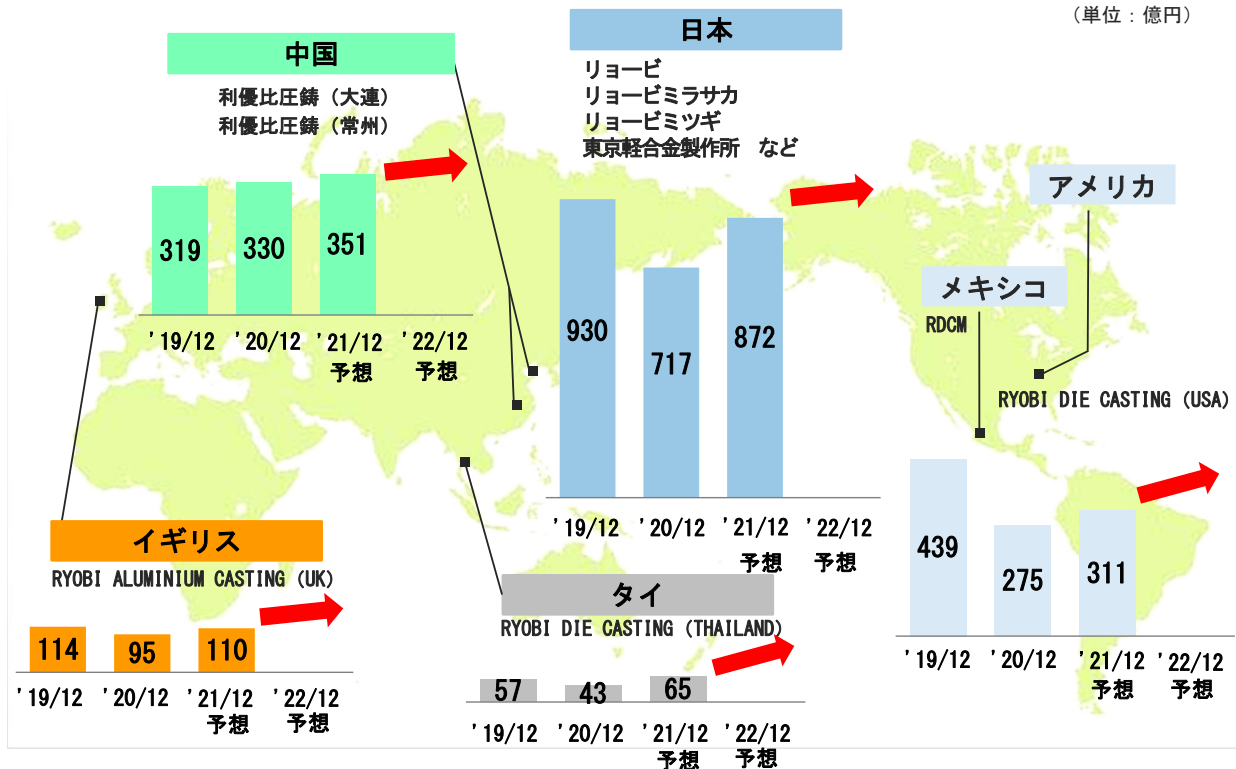
(単位：億円)



ダイカスト事業 - グローバル展開

地域別売上高

(単位：億円)

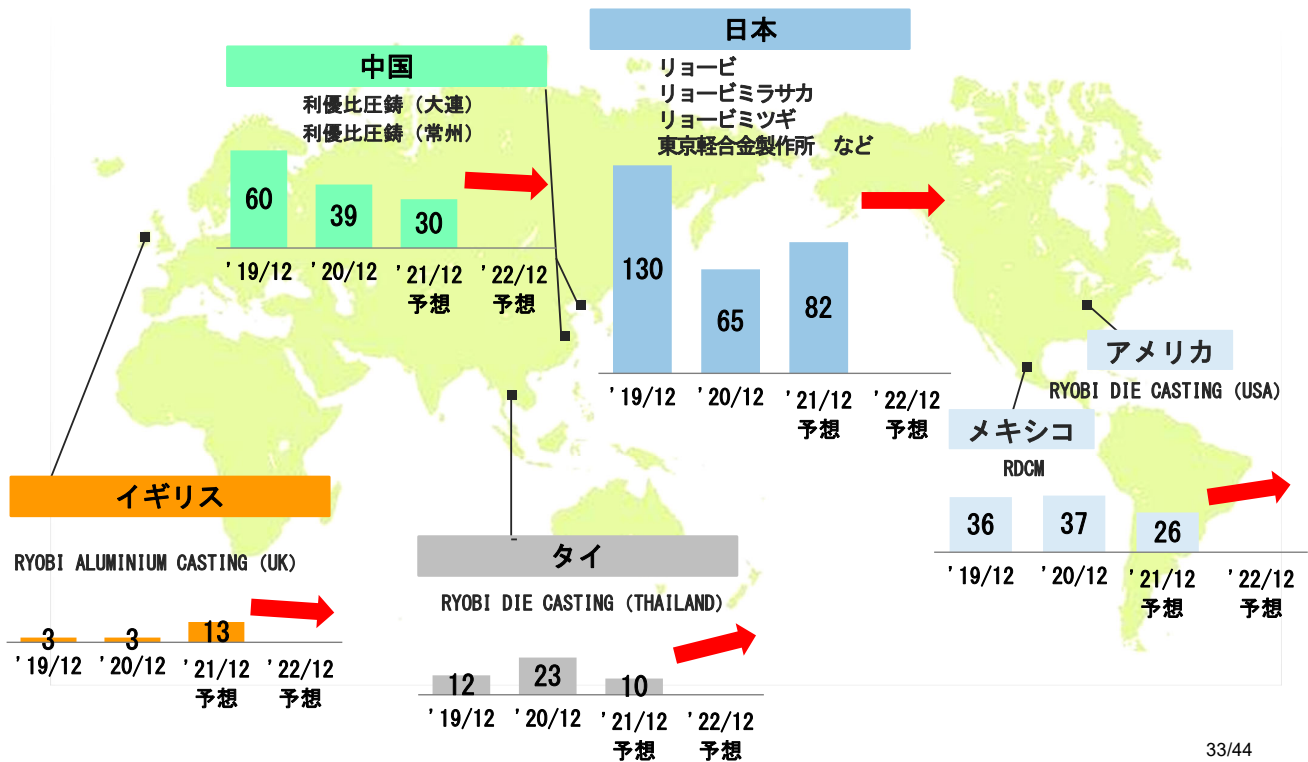


ダイカスト事業 - グローバル展開

4. 今後の取組み

地域別設備投資実績・予想

(単位：億円)



33/44

ダイカスト事業 - '20/12期 主な設備投資

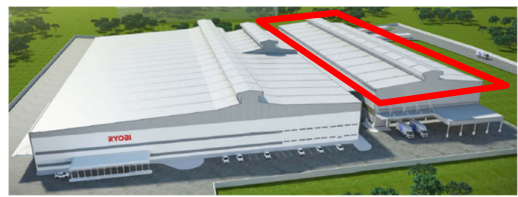
4. 今後の取組み

リョービ圧鋳（常州）



投資内容	工場建設(床面積 15,000㎡) 鋳造機3500ト1台、加工設備30台等 (既存工場床面積 71,600㎡)
着工	'19/08月 竣工 '20/07月
'20/12期 設備投資金額	35億円
量産開始予定	'21/08月 (シャシー部品)
製品	シャシー部品 ICE車向けトランスミッション部品

リョービダイキャスト（タイランド）



投資内容	工場建設(床面積 8,600㎡) 鋳造機3550ト1台、加工設備6台等 (既存工場床面積 22,800㎡)
着工	'20/07月 竣工予定 '21/01月
'20/12期 設備投資金額	15億円
量産開始予定	'21/03月 (シャシー部品)
製品	シャシー部品 次世代車向け電動化部品

* ICE車は内燃機関車であり、次世代車はHV、PHV、EV、FCVを意味する。

リョービダイキャスト（USA）



投資内容	加工設備12台、仕上設備、検査設備等
'20/12期 設備投資金額	14億円
量産開始予定	'21/01月 (シャシー部品)
製品	シャシー部品 次世代車向けトランスミッション部品

34/44

ダイカスト事業 - '21/12期 主な設備投資

4. 今後の取組み

リョービミラサカ



写真はイメージ図

投資内容	加工設備15台、既存鑄造機3500トン1台改造、熱処理炉等
'21/12期設備投資金額	13億円
量産開始予定	'21/12月
製品	次世代車向け電動化部品

* 次世代車はHV、PHV、EV、FCVを意味する。

リョービアルミニウム キャスティング (UK)



写真はイメージ図

投資内容	加工設備9台、リークテスター等
'21/12期設備投資金額	10億円
量産開始予定	'22/11月
製品	次世代車向けトランスミッション部品

35/44

住建機器事業 - 取組み

4. 今後の取組み

事業環境

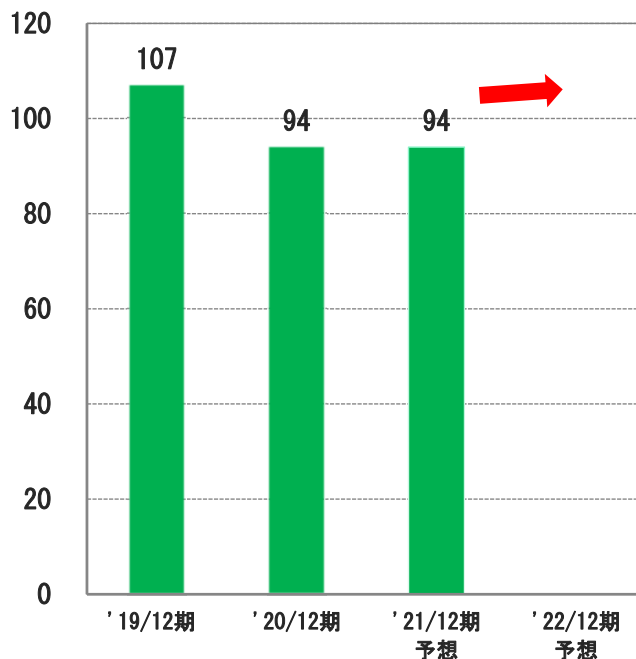
- ビル（非居住）着工床面積は平均3%減少、新設住宅着工戸数は横ばい
- ドアクローザ市場、引戸クローザ市場は緩やかに縮小を続ける
- 同業他社のドアクローザビジネスからの撤退

主要な取組み

- 市場シェアの拡大（当社品の指名獲得、物件採用率・受注平米数の拡大）
- 海外市場での売上高拡大化
- 競争力のある商品開発
- 電動開閉装置の新商品開発
- 自動化設備（組立・梱包工程）の稼働

売上高の見通し

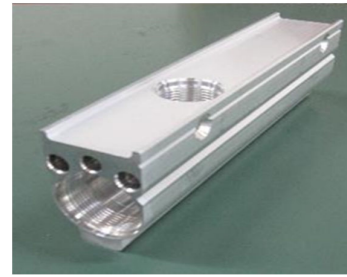
(単位：億円)



36/44

住建機器事業 - 取組み

国内御調工場へのドアクローザハウジング生産自動化設備導入



加工後のドアクローザハウジング

取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 国内の量産工場に、ハウジングの自動加工ライン、自動組立・検査ライン、自動梱包ラインの3つのラインを設置済。 '21/12期は、各ラインの稼働率や良品率の向上といった省人化に取組む。 	
総投資額	925百万円（3ライン合計）	
量産開始年月	自動加工ライン	2019年4月（量産開始済）
	自動組立・検査ライン	2021年6月（予定）
	自動梱包ライン	2021年6月（予定）
最大生産能力	50,000台/月（3交代運用時）	
日本に設置した意図・目的	<ul style="list-style-type: none"> 対象商品の需要先は日本（地産地消）。 中国工場で生産した場合の労務費上昇と為替の変動（元高）リスクがある。 国内生産体制を充実させることで当社のBCP対応力を高める。 	
生産モデルの用途と特性	<ul style="list-style-type: none"> 一般戸建住宅の玄関ドア用ドアクローザ。 コンパクトサイズながら、バックチェック機能※を標準搭載。 ※強風などによる急激な開扉を制御。 	

37/44

印刷機器事業 - 取組み

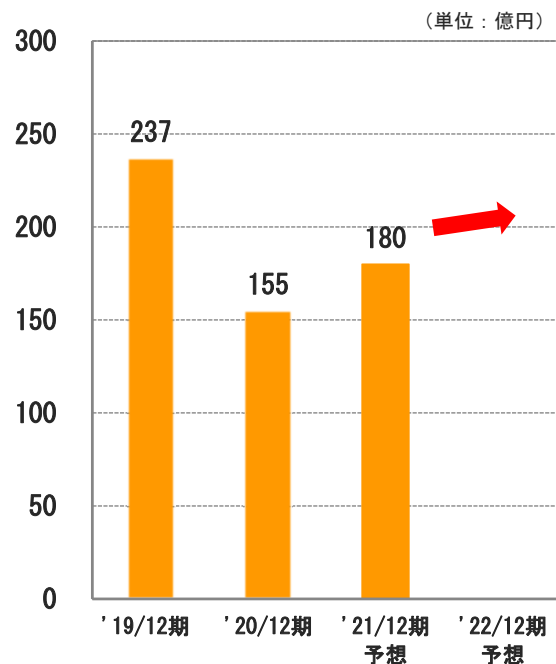
事業環境

- オフセット印刷機市場はCOVID-19の影響により減少、地域毎にばらつきはあるが、緩やかに回復
- 国内は人員不足、新興国は人件費高騰により自動化・省力化ニーズが高い
- 大型機の国内稼働台数が減少

主要な取組み

- 主力機種のコストダウン
- 新機種の機能充実
- IoT、RMS (Remote Maintenance System) ウェアラブルグラスを利用したサービス体制構築
- 戦略機種の販売強化（地域別）
- デジタル機、搬送装置の販売強化
- ロボット・AGVの販売促進

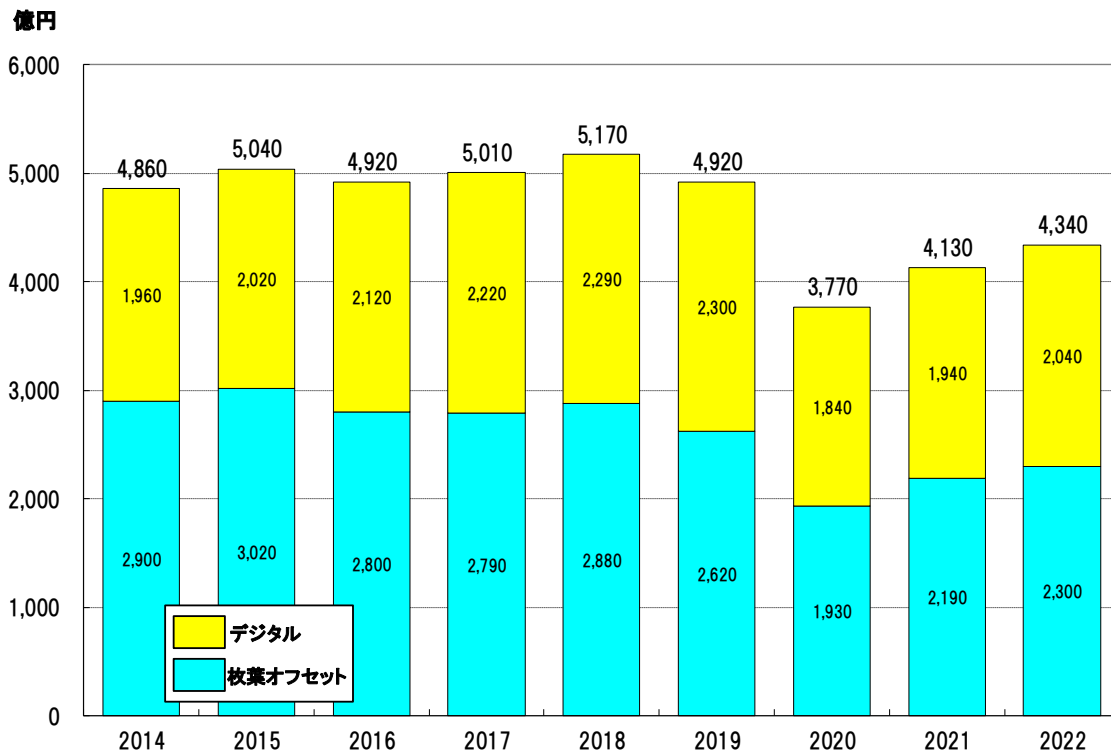
売上高の見通し



38/44

印刷機器事業

世界の枚葉印刷機市場(全サイズ)



出典:各社の決算資料等よりRMGTで推測(2020年12月)

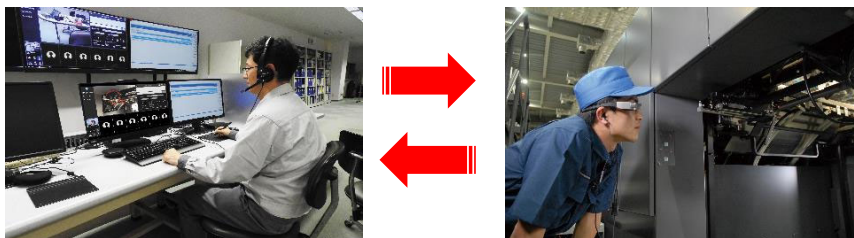
39/44

印刷機器事業 - 取組み

- ・省人化ニーズに対応した新規事業としてAGV(Automatic Guided Vehicle:無人搬送車)の提案、販売



- ・RMS(Remote Maintenance System:遠隔支援システム)を利用した新サービス体制の構築

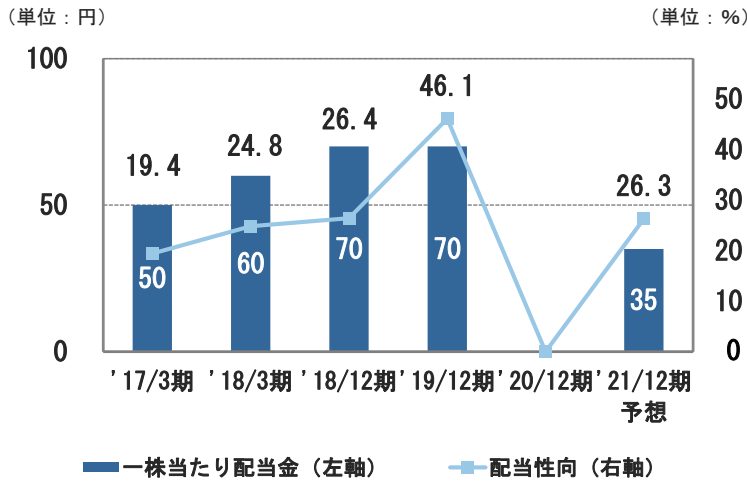


40/44

株主還元

株主還元

一株当たり配当金・配当性向の推移



配当政策

- 中長期的に連結業績の向上を図り、成長投資と株主の皆様への安定した利益還元の維持を基本とする
- 安定的な配当継続に加え、配当性向30%程度を目安とし諸条件を勘案の上決定する

配当の状況

- 2020年12月期は業績が大幅に悪化し、設備投資や事業継続の運転資金確保を優先するため無配
- 2021年12月期は黒字に回復する見込みのため、従来の配当政策に基づいた復配を行う予定

	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期	'21/12期 予想	'22/12期 予想
一株当たり配当金	50円	60円	70円	70円	0円	35円	配当性向30%程度
配当性向	19.4%	24.8%	26.4%	46.1%	—	26.3%	

SDGsへの取組み

重要テーマ	対応する主なSDGs目標	具体的な取組み
地球環境への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ➢ アルミダイカスト製品の拡販 ➢ CO2削減 ➢ 水資源の効率利用 ➢ 廃棄物削減 ➢ 有害物質削減への取組み ➢ 省エネ・軽量化ニーズの対応 ➢ リサイクルの推進
技術革新		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新たな技術・素材による新商品開発 ➢ 自動化・省力化ニーズに対応した新商品・サービス
働き方改革の推進		<ul style="list-style-type: none"> ➢ ダイバーシティの推進 ➢ 多様な働き方の推進 ➢ 健康経営の推進
その他社会的要請への対応		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 雇用の創出 ➢ 技術の継承 ➢ 法令遵守 ➢ 企業理念の徹底

将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予測に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

<無断複製・転載等を禁止します>

43/44

RYOBI

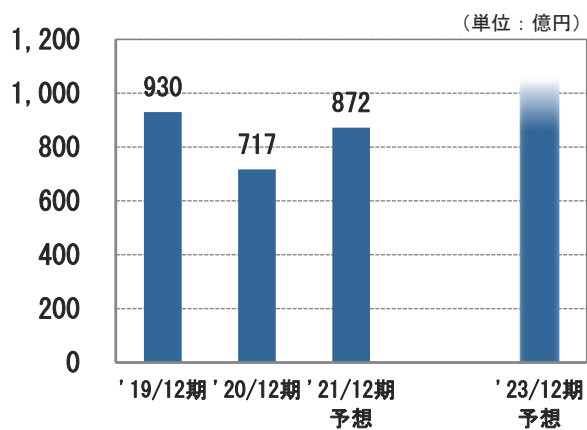
できたらいいなの、その先へ。

補足資料

補足資料

ダイカスト事業 - 国内

売上高の見通し



事業環境

- 日本経済の回復はCOVID-19の今後の感染拡大状況により不透明（ワクチンの普及状況が鍵）
- 環境意識の高まり（2050年までにカーボンニュートラル 脱炭素社会の実現）
- 軽量化・電動化ニーズの高まり
- 少子高齢化の進行

主要な取組み

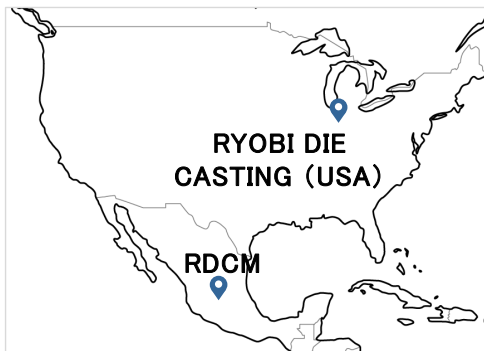
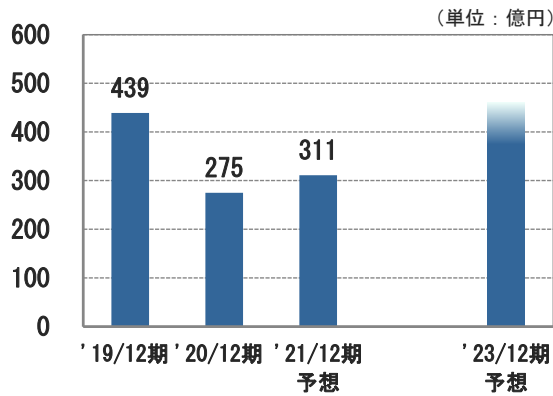
- 戦略製品の新規品受注獲得
- 戦略製品の工法開発
- 自動化の推進



リョービ 広島工場

ダイカスト事業 - アメリカ・メキシコ

売上高の見通し



事業環境

- COVID-19影響は続くものの、自動車販売は回復基調
- バイデン大統領の対中国政策に転換なし（米中貿易摩擦の継続）
- パリ協定に復帰による環境規制の強化の可能性（電動化の加速）
- 世界的半導体不足に伴う自動車生産への影響

主要な取組み

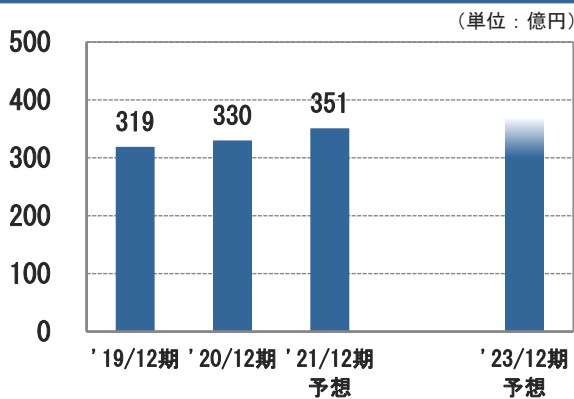
- 戦略製品の受注獲得
- 生産性の向上

RYOBIDIE
CASTING (USA)

RDCM

ダイカスト事業 - 中国

売上高の見通し



利優比压铸(大連)

利優比压铸
(常州)

利優比压铸(常州)

事業環境

- 2018年からの自動車販売減速が2020年まで継続するが、その後中期的には増加する見通し
- 2021年からNEV規制で「低燃費車」としてHVが優遇される見通し
- 競合他社との価格競争が激化

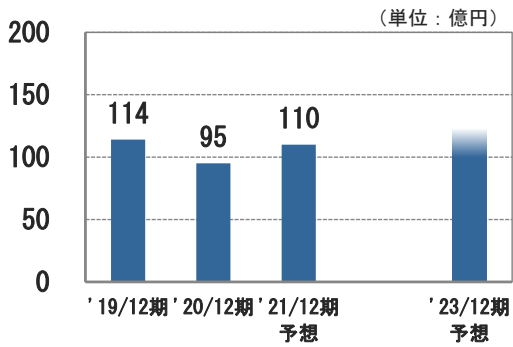
主要な取組み

- 優良顧客との関係強化と拡販
- 価格競争力の強化

ダイカスト事業 – イギリス・タイ

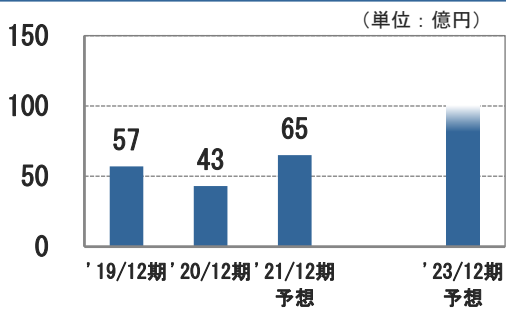
イギリス

売上高の見通し



タイ

売上高の見通し



事業環境

- 欧州全体での自動車生産は中期的に微増
- 英国とEUによるFTAの合意による関税復活の回避

主要な取組み

- 生産性の向上
- 生産体制の整備



RYOBI ALUMINIUM
CASTING (UK)

事業環境

- 中期的に南アジアの自動車生産伸び率は継続的に拡大

主要な取組み

- 新規品の受注獲得
- 生産体制の増強



RYOBI DIE
CASTING
(THAILAND)